



2015 平成27年 10

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ● 狛江市地域活性課
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
☎ 3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階A号
☎ 3430-6617 FAX3430-6743



狛江市誕生

市制施行を祝う車のパレード。後部座席中央は富永市長（現・六郷さくら通り）

パレードや花火で祝う

狛江市制45年



オープナーパレード

10月1日、初の市議会が開かれ、富永和作市長が議場で「市制宣言」を読み上げるのに合わせて花火が打ち上げられ、市民に狛江市の誕生を告げた。その後、富永市長を乗せたオープナーを先頭に、風船やモールなどで飾り付けた商工会や各商店会の車が狛江駅周辺などをパレードした。また、狛江第二小学校6年生の鼓笛隊も学校から市役所までマーチなどを演奏して行進し、華を添えた。

10月10日の「体育の日」には、狛江第一中学校体育館で約800人が参加して記念式典が催され、歴代の町長など狛江の発展に尽くした人が表彰された。当時は財政的な余裕がなく、市制施行に伴う経費の抑制が大きな課題だった。市制記念に関する事業の総予算は310万円で、職員はやりくりしに苦労したという。



飾り付けられた狛江ショッピングセンター

記念行事などの準備は企画室があたったが、当時、企画室主査だった春日教男さん(80)は「担当は3人しかおらず、準備が大変でした。参考にするため調布市や保谷市などに出かけて調査しました。式典の招待者は、43年の石井三四郎町長の町葬を参考に比較的速く決まりましたが、表彰者のリストアップは苦労しました。表彰基準を決めて、倉庫の文書を何度も調べたり、町で聞き取り調査をしてようやく決まりました」と話している。

続いて庁舎の表示板の除幕式や記念植樹が行われた。市の誕生を祝って狛江ショッピングセンター、二の橋、和泉多摩川などの商店会ではちょうちんや万国旗などで店や通りを飾って売り出しも行われた。和泉多摩川商店街振興組合で青果店を営む山口修さん(76)は、「1週間ぐらいお祝いの売り出しをしました。花火の音が聞こえたのを覚えています」と話している。

鼓笛隊の副指揮だった城守さん(57)は「音楽の先生が熱心で、夏休みが終わってから長い期間、マーチなどを何曲か練習しました」と話し、富永幸伸さん(57)は「長い距離を歩きました。音楽が苦手でしたが、6年生は全員参加だったので苦労しました」と振り返っている。市役所の窓口と市内の郵便局では記念スタンプが備えられた。



市役所に入る二小の鼓笛隊

町をあげて市制施行の準備

昭和45年10月1日、北多摩郡狛江町は都内で19番目に市制を施行し、狛江市として新たなスタートをきった。

市制施行に向けては町をあげて準備が進められ、庁内では吉岡金四郎助役(後に市長)をトップとする準備室が4月1日に設置された。議会には市制推進特別委員会が設けられ、市制施行に関する手続きのチェックや記念行事の内容、関連行事の予算などを審議した。委員会で、市章が必要との意見が出され7月にデザインを公募、岩戸在住の幡野徳治さんの作品が選ばれた。市章を使って市の旗を作ったほか、市制施行の記念品として文鎮約7,000個を作成、小・中学生と保育園児などに配布。職員用のバッジも作って着用した。

また、市制記念として『わたしの便利帳』を作成、市民に配布した。

8月12日に臨時町議会を開き、狛江町を市にすることについて全員一致で可決、都知事に申請書を提出。9月の都議会で申請が認められ、市制施行が正式に決まった。

市制45周年を記念した30%のプレミアム付き「狛江わくわく商品券」の発行など、狛江市の商工業発展の牽引役を担う狛江市商工会会長の栗山昇さん(74)に話を聞いた。

「平成7年に商工会の理事になり、副会長を経て18年に6代目の会長に就任しました。会長の仕事は総合的なまとめ役のほか、一番大切なのは毎年事業計画を立て、地域の商工業の振興について狛江市や東京都などの行政と交渉したり、理解を深め合うことです」
「商工会は昭和36年に発足し、当時の会員数は393でした。現在は商業部会に約600、工業部会に約300の会員がいます。会員数は多くありませんが、他都市に比べ加盟率は高いですね。役員は29人いますが、役員会を円滑に運営することも、会長の大切な仕事です」
「役員は全員のボランティアです。地域振興のためのイベントの計画などの立案や決済をはじめ、多種多様な案件を処理するため週2、3回打ち合わせをします。このほか、東京都商工会連合会などの視察や会議など仕事は多いですね」
「ことは、市制45周年記念の関連で多くの行事がありますが、商工会としては

ひとつにまとまって狛江をにぎわいのある街にしていきたいです

5回目となる商品券の発行が一番大きな仕事です。今回はプレミアム率の高さが人気を呼び、予想以上の応募をいただきました。スーパーや大型店、コンビニも加盟店に入ってもらい304店(9月10日

現在)で使えます。総額で2億3,400万円を発行しますが、地域振興の大きな力になると期待しています」
「商工会では税務相談会を開いたり、経営の相談や融資斡旋など会員のサポート業務を行っています。最近では、市内で起業を目指す人の相談も増えており、もっと会員を増やしたいと考えています。今後は、長期計画を立てて個人商店をバックアップし、商・工だけでなく、農家とも連携し、狛江のオリジナルブランド品を増やすなど、ひとつにまと



狛江市商工会会長 栗山昇さん

栗山昇さんの横顔=小足立(現・東野川4丁目)の旧家の長男に生まれ、青年団、消防団など地域の活動に力を注ぐかわら、将来の起業を目標に流通業界など多くの業種を経験し、昭和48年に薬品・不動産管理を行う株式会社三長を設立。市内の会社経営者などと狛江青年会議所を立ち上げ、初代理事長に就任。農業にも携わりマイズ農業協同組合の理事も務めた。平成25年に東京都功労者表彰などを受賞。東京都商工会連合会副会長、東京都消費者被害救済委員会委員も務める。
18年から毎年ホノルルマラソンに出場、毎日野川を5、6km走る。ハンディ13のゴルフやスキーなど、趣味はアウトドア派。市内での飲み歩きや旅行も楽しみのひとつ。

海上自衛隊東京音楽隊がコンサート



演奏する海上自衛隊東京音楽隊

狛江市制施行45周年記念事業として狛江市主催の海上自衛隊東京音楽隊「狛江ふれあいコンサート」が9月13日にエコーホールで催され、700人余りの聴衆は約2時間にわたってくり広げられた見事な演奏に耳を傾けていた。

この日は2部構成で、手塚裕之隊長(2等海佐)の指揮により、第一部のベルギー落下傘兵行進曲を皮切りに、第二部は星・月をテーマとして、さまざまなジャンルの11曲を演奏した。また、三宅由佳莉3等海曹が額田王の4つの歌、荒城の月などをソプラノの美しい声で歌い上げ、聴衆を魅了した。アンコールの軍艦行進曲では、演奏と会場の手拍子が一体となって盛り上がりを見せていた。

応援しよう狛江のキャラクター3体

全国のゆるキャラ®の人気ナンバーワンを決める「ゆるキャラ®グランプリ2015」に狛江から3体のキャラクターがエントリーしている。

9月23日の中間発表では、日本一安心で安全なまちをめざす「安安丸」が770位、狛江の「ECO」な生命体「えこまん」が796位、狛江市社会福祉協議会の社会福祉犬「こまちゃん」が643位と健闘している。

狛江市では、さらに上位に押し上げるため3体のキャラクターへの投票を呼びかけている。

「ゆるキャラ®グランプリ2015」の投票は<http://www.yurugp.jp>。



こまちゃん



安安丸



えこまん

キラリこまえ